



燃やせるごみの中にあつた食品ロス▲

10月は食品ロス削減月間です

【問合わせ】環境課 ☎23-3567

生ごみの中には、賞味期限切れ食品、食べ残し、食べられる部分の過剰除去等の「食品ロス」が含まれています。次の【3きり運動】に取り組んでいただくことで、食品ロスの削減とごみの減量につながります。是非、みなさまのご家庭で実践してみましょう。

3きり運動

① 使いきり

食材は無駄なく使いきりしましょう。また、買物の前には、冷蔵庫の中を確認して、同じ食材を買わないようにしましょう。

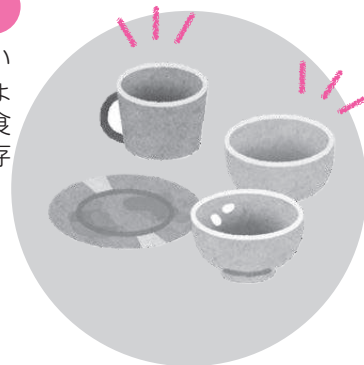


◀消費者庁のキッチン



② 食べきり

料理は残さず、おいしく食べきりましょう。また、余った食べ物は上手に保存しましょう。



③ 水きり

生ごみを出すときは、水気を切りましょう。生ごみの約8割は水分と言われており、市販の水切りグッズや、生ごみ処理機などを使用することで、生ごみの量を減らすことができます。



拡大
底部、側面部に穴があいています。



市ホームページ▶
(生ごみ処理機)



紙製水切り袋の活用

耐水紙を使用しており、上部を折りたたんでしぼるだけで生ごみに触れずに水切りができ、三角コーナの代わりに流しに置くこともできます。

フードドライブについて

食品ロスを削減するための取組のひとつにフードドライブがあります。家庭で使いきれない未利用食品を持ち寄り、子ども食堂や困窮している方に寄贈する活動です。半田市社会福祉協議会がフードドライブを実施しています。

◆ 受付可能な食品 ◆

- お米、乾麺、缶詰、レトルト食品、お菓子、調味料など
- ※注意事項
- ◇ 賞味期限が明記されており、1か月以上期限があるもの
 - ◇ 未開封のもので包装や外装が破損していないもの
 - ◇ 中身を他のものに移し替えていないもの(お米を除く)

◆ 受付場所 ◆

半田市社会福祉協議会 ボランティア地域ささえあいセンター ☎25-0002



▲半田市社会福祉協議会



▲市ホームページ(食品ロス)